

陣峰市民の森・陣峰ラインの主な野草 (スミレ属・芝生広場・外来種以外)

ミツバツチグリ・キンミスヒキ・ヒメキンミスヒキ・ヘビイチゴ・キバナイカリソウ・アキカラマツ・トリアシショウマ・オトギリソウ・オウレン・ツルリンドウ・ケイタドリ・ウマノアシガタ・オカトラノオ・クサレダマ・マルバハギ・ヤマハギ・オトコエシ・センボンヤリ・オヤマボクチ・ノアザミ・ヤマニガナ・サワオグルマ・ヨツバヒヨドリ・ヒヨドリバナ・ハンゴンソウ・ダキバヒメアザミ・アキノキリンソウ・サジガンクビソウ・ウツボグサ・イヌトウバナ・フキ・ツリガネニンジン・ヒメシロネ・コウゾリナ・エソウバユリ・ヤマユリ・クマユリ・ミヤマナルコユリ・ツクバネソウ・チゴユリ・シュンラン・ササバギラン・ヒトツボクロ・ギンラン・タガネソウ・ゴウソウ・アブラガヤ・ノハナショウブ・スキ・チヂミザサ・チマキザサ・チシマザサ・ノギラン・イヌガンソク・ヤマドリゼンマイ・ゼンマイ・ワラビ・シシガシラ

スミレの仲間

県内には30種以上ものスミレが分布しますが、市民の森、陣峰ラインでは、そのうち次の10種を見ることが出来ます。

- マキノスミレ○テリハタチツボスミレ○ナガハシスミレ
- ニオイタチツボスミレ：紅紫色の花で、中心部が白く抜ける。良い香りがある。数は少ない。準絶滅危惧種。
- タチツボスミレ：距の先端部が青紫を帯びるので、オオタチツボスミレと区別できる。最も多いスミレ。
- オオタチツボスミレ：タチツボスミレに似ているが少し大形。距が白い。
- アオイスマスミレ：最も早く咲く。地に伏して、小さな淡紫色の花をつける。
- ツボスミレ：小さな白い花で、中心部の紫条が目立つ。湿った所を好む。
- スミレ：地上茎の無い、濃い紫色の花をつける。日本のスミレの代表種のようなものであるが、学名のmandshuricataは“満州の”の意。
- スミレサイシン：地上茎の無い、淡紫色の大型の花をつける。開花期の葉は開ききっていない事が多い。日本海側多雪地の代表種、半日陰を好む。

市民の森の帰化植物

- ハルジョオン：花の色紅紫～白、ヒメジョオンに似るが、茎中空。多年草。
- ヒメジョオン：花の色微淡紫～白、茎は中空ではない。越年草。
- ボタン：花はタンポポに似るが、花茎が枝分かれする事が多く、50cm以上にもなる。
- フランスギク
- アカツメクサ
- シロツメクサ
- セイヨウタンポポ、他



市民の森野草園の野草 (自生種も含む) 駐車場と芝生広場の中間にある

シラネアオイ・オオナルコユリ・ドクダミ・サラシナショウマ・タマガワホトトギス・ウマノアシガタ・コバギボウシ・ショウジョウバカマ・オウレン・テンニンソウ・マイヅルソウ・ミヤマカタバミ・オニシモツケ・オクトリカブト・ヒメシャガ・ヒトリシズカ・イワウチワ・コシジシモツケソウ・イチヤクソウ・オオイワカガミ・ヤマジノホトトギス・ミヤマナルコユリ・コシノカンアオイ・チゴユリ・クガイソウ・スズラン・ミヤマヨメナ・ミヤマハギ・ミズバショウ・ニリンソウ・バイケイソウ・オオサワハコベ・トガクシショウマ・カタクリ・ツルリンドウ・クリンソウ・ニッコウキスゲ・タガネソウ、他

写真・文：大類 貞夫

■お問い合わせ先

新庄市役所農林課

〒996-8501 山形県新庄市沖の町10-37

TEL 0233-22-2111

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp/>

e-mail nourin@city.shinjo.yamagata.jp

春に目立つ植物

陣峰市民の森の植物 II

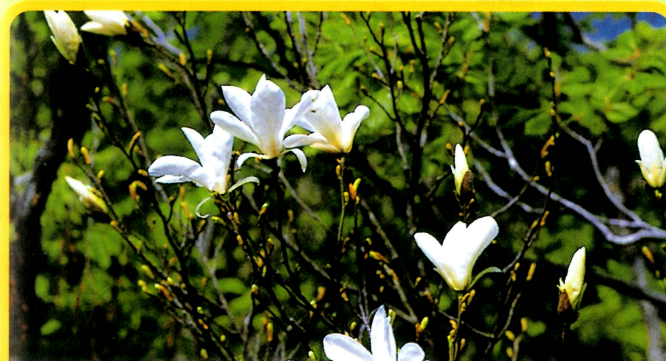
春の野草

レンゲツツジ

ショウジョウバカマ



マルバマンサク (マンサク科) 最も早く3月中旬頃から残雪の上に咲く。名はまず咲くから。圧雪に強い。



タムシバ (モクレン科) 山地に広く自生。良い香りがある。コブシより花も葉も大きいキタコブシも自生する。



キバナイカリソウ (メギ科) 花の形が、いかりに似ているのでこの名。紫色のイカリソウは県内に分布しない。



キブシ (キブシ科) マンサクに次いで早く咲く。枝の中心部の髄が白い。



シュンラン (ラン科) 乾いた林内に生える。ランの仲間では最も早く咲く。



ナガハシスミレ (スミレ科) 距と言われる花びらの突起した部分が長いのが特徴で、テングスミレの別名がある。



イワナシ (ツツジ科) 地をほう矮小低木。6月頃熟する実は甘く食べられる。



マキノスミレ (スミレ科) 地上茎が無い美しいスミレ。名は植物学者、牧野富太郎に因む。葉裏が紫色。ホソバスミレの名もある。



エゾタンポポ (キク科) 日本古来の在来種。外来種のセイヨウタンポポとは総苞片がそり返らないことで区別出来る。



テリハタチツボスミレ (スミレ科) 本州日本海側だけに生える。葉が厚く、光沢があるのでこの名。花の色は淡紫色～白色。